

2016年3月15日

報道関係各位

GMO リサーチ株式会社

リサーチパネル「CPAT」^{シーバット}連携第 5 弾 マクロミルの「AccessMill」^{アクセスミル}と連携、Web 広告の配信実験調査サービスを開始

GMO インターネットグループの GMO リサーチ株式会社（代表取締役：細川 慎一 以下、GMO リサーチ）は、デジタルマーケティング施策の効果を測定・分析できるリサーチパネル^(*)「Cloud Panel for Audience Tracking（以下、CPAT）」^{クラウド パネル フォー オーディエンス トラッキング}におけるサービス連携第 5 弾として、株式会社マクロミル（代表執行役グローバル CEO：スコット・アーンスト 以下、マクロミル）^{シーバット}が提供する「AccessMill」^{アクセスミル}との連携を、2016年3月15日（火）より開始いたしました。

これにより、「CPAT」モニターを対象に広告内容や接触頻度をコントロールして広告配信し、Web 広告による態度変容や評価などの効果を検証することができるようになりました。これにより少量の広告出稿で、広告効果を実験的に把握することができます。

（※1）パネルとは、モニターの集合体。モニターとは、アンケート協力の承諾を得ている会員一人ひとりのこと。



【背景と目的】

近年、企業によるデジタルマーケティングの活用が進むにつれ、自社が保有するデータをマーケティングに活かせるDMPや広告効果測定ツールへの利用ニーズが高まっています。これを受けてGMOリサーチでは、日本国内に特化した消費者パネル「Japan Cloud Panel」^(*)をベースに、デジタルマーケティング効果を測定・分析できるリサーチパネル「CPAT」を構築し、2015年5月より提供しています。

「CPAT」は、他社のマーケティングツールと連携することで、各ツールが取得した Cookie 情報（Web サイトのアクセス履歴、ログイン ID などのユーザー情報）とモニター情報を紐付け、デジタルマーケティングの効果を測定・分析できるリサーチパネルで、これまでに、4 つのマーケティングツールと連携しています。

一方、マクロミルは、オンライン上の行動ログデータと、同社が提供するリサーチサービスを組み合わせ、Web 広告効果測定やサイト訪問者のリサーチ・分析を実行動ベースで行える「AccessMill」を提供しています。通常の広告効果測定ツールやアクセス解析ツールでは測れない、認知度・ブランド好感度・購買意向などの広告効果測定が可能です。

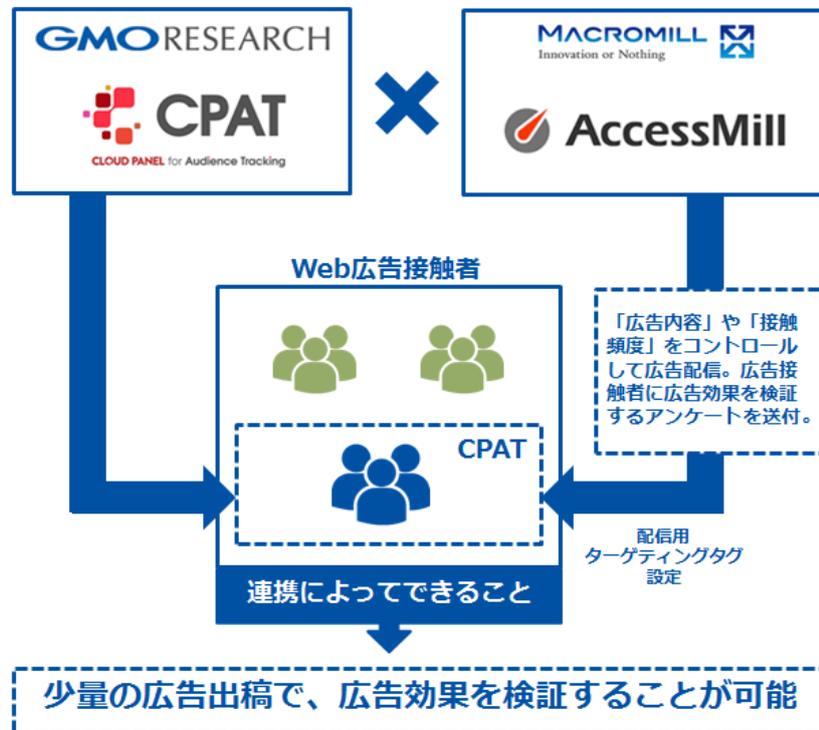
この度 GMO リサーチは、企業が Web 広告の出稿を最少に抑えながら、効果測定が行えるよう、「CPAT」連携第 5 弾として、マクロミルの「AccessMill」との連携を開始いたしました。また、今後は日本国内に留まらず、海外でも「CPAT」と「AccessMill」を連携させ、より効果的なデータ活用の実現を支援してまいります。

（※2）「Japan Cloud Panel」は、インターネット調査サービス「GMO リサーチ・クラウド・パネル」における、日本国内に特化した消費者パネルの総称。

【「CPAT」と「AccessMill」の連携について】

この度の連携により、「CPAT」のモニターを対象に、広告内容や接触頻度をコントロールした上で Web 広告を配信し、接触したモニターへ広告による態度変容やクリエイティブ評価などのアンケートを実施することが可能となります。

なお、「CPAT」のご利用には「AccessMill」をお申し込みいただく必要があります。ご利用料金は個別にお見積りとなりますので、詳細は E-mail : info@gmo-research.jp までお問い合わせください。



■ 活用例 1 : クリエイティブ効果の検証

Web 広告クリエイティブを複数作成した際、それぞれ異なるパネルに広告を配信し、接触者へアンケートを実施することができます。これにより、クリエイティブ別に「信頼できる」「親しみやすい」「高級感がある」など、どういったイメージを持たれているのか、またどの広告クリエイティブが一般的にユーザーの「関心／認知度／好感度／購入意向度」が高いのかを詳細に把握できます。

■ 活用例 2 : ブランディング効果を最大化する広告接触回数の検証

Web 広告の接触回数異なるパネルに同一のアンケートを実施することで、どの程度の接触回数が最も「関心／認知度／好感度／購入意向度」が高いのかを検証することができます。これにより、「ブランド好感度向上には広告接触 1 回」「購入意向度向上には広告接触 3 回」といったように、有効な広告配信回数を事前に把握することが可能です。

【GMO リサーチ株式会社について】

GMO リサーチは、従来通りの市場調査手法はもちろん、MROC やアイトラッキング、スキャナマインドなど、最先端の技術と手法を駆使した市場調査サービスを提供しております。現在、アジア 13 カ国で 2,000 万人を超える消費者にインターネットリサーチが可能な「^{アジア クラウド パネル}ASIA Cloud Panel」を利用したインターネットリサーチのほか、マーケターの調査をサポートする DIY 型インターネットリサーチツール「^{マーケット}GMO Market ^{オブザーバー}Observer」を提供しております。

アジア最大規模の調査対象者と DIY 型インターネットリサーチツール 2 つのサービスを通じて、当社はアジアの生活者のニーズを世界中の企業にご提供し、さらなるインターネットリサーチの発展に貢献してまいります。

【参考 URL】

- 「ASIA Cloud panel」 URL : <http://www.gmo-research.jp/acp>
- 「GMO Market Observer」 URL : <http://www.gmo-research.jp/rsp>
- 「AccessMill」(株式会社マクロミル) URL : <http://www.macromill.com/service/accessmill/accessmill.html>

以上

【報道関係お問い合わせ先】

- GMO リサーチ株式会社
国内事業本部 担当 白鳥
TEL : 03-5962-0037(代表)
E-mail : pr@gmo-research.jp
- GMO インターネット株式会社
グループ広報・IR 部 石井・島田
TEL : 03-5456-2695 FAX : 03-3780-2611
E-mail : pr@gmo.jp

【GMO リサーチ株式会社】 (URL : <http://www.gmo-research.jp/>)

会 社 名	GMO リサーチ株式会社 (東証マザーズ 証券コード : 3695)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役社長 細川 慎一
事 業 内 容	■ インターネットリサーチ事業
資 本 金	2 億 9,903 万円

【GMO インターネット株式会社】 (URL : <http://www.gmo.jp/>)

会 社 名	GMO インターネット株式会社 (東証第一部 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役会長兼社長・グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	■ インターネットインフラ事業 ■ インターネット広告・メディア事業 ■ インターネット証券事業 ■ モバイルエンターテインメント事業
資 本 金	50 億円

Copyright (C) 2016 GMO Research, Inc. All Rights Reserved.